

Silicon Studio:

「2018年11月期第2四半期 決算説明資料」

2018年7月20日
シリコンスタジオ株式会社
東証マザーズ
証券コード: 3907



CONTENTS

1. 2018年11月期第2四半期 連結決算説明

2. 業績回復に向けた取り組み

3. 2018年11月期 連結業績予想

4. トピックス

参考資料：会社概要

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。



1. 2018年11月期第2四半期 連結決算説明

2018年11月期第2四半期 連結業績：全社

開発推進・支援事業、人材事業は計画通り好調に推移するも、コンテンツ事業において、4月リリースの新作タイトルが苦戦したことから、減収・赤字拡大

(単位:百万円)

	2018年11月期 第2四半期	2017年11月期 第2四半期	前年同期比
売上高	2,502	3,251	▲ 749
売上原価	2,357	2,870	▲ 512
売上総利益	144	381	▲ 237
販管費	819	815	+4
営業利益	▲ 675	▲ 433	▲ 241
経常利益	▲ 721	▲ 365	▲ 356
四半期純利益	▲ 791	▲ 110	▲ 680

2018年11月期第2四半期 連結業績:セグメント別

開発推進・支援事業は黒字転換、人材事業は増収増益と2事業は好調に推移したものの、コンテンツ事業は大幅減収・赤字拡大

(単位:百万円)

		2018年11月期 第2四半期	2017年11月期 第2四半期	前年同期比
開発推進・支援	売上高	1,401	1,436	▲ 34
	セグメント利益	75	▲ 75	+150
コンテンツ	売上高	264	1,142	▲ 878
	セグメント利益	▲ 629	▲ 200	▲ 429
人材	売上高	841	672	+169
	セグメント利益	179	120	+58

※売上高はセグメント間の内部売上高を含めた数値

セグメント別業績：①開発推進・支援事業

(単位:百万円)

	2018年11月期 第2四半期	2017年11月期 第2四半期	前年同期比
売上高	1,401	1,436	▲ 34
セグメント利益	75	▲ 75	+ 150

- 採算性の改善が継続、セグメント利益の黒字幅拡大
- 開発案件は、計画を上回る推移
→注力分野である自動車業界向けは計画通りに推移
- ミドルウェアは、期ずれが生じたこと等により当期は計画を下回る
- ソリューションは、前年同期比減少だが計画を上回る推移

セグメント別業績：②コンテンツ事業

(単位:百万円)

	2018年11月期 第2四半期	2017年11月期 第2四半期	前年同期比
売上高	264	1,142	▲ 878
セグメント利益	▲ 629	▲ 200	▲ 429

- 新作タイトル、既存タイトル共に計画を下回ったこと等により前年同期比減収・赤字拡大
- 4月にリリースした「療成敗！ジェットナース」は不振
- 5月にリリースした「ワンダーブロック」はユーザーから高評価で好調に推移したものの、売り切りアプリのため、貢献度小

セグメント別業績：③人材事業

(単位:百万円)

	2018年11月期 第2四半期	2017年11月期 第2四半期	前年同期比
売上高	841	672	+169
セグメント利益	179	120	+58

- 引き続き業績好調。前年同期比増収増益
- 売上・セグメント利益ともに概ね計画通り
- 当期に稼働中の一般派遣労働者数は延べ1,516名(前年同期比+16.1%)
有料職業紹介の成約実績は117名(前年同期比+82.8%)

2018年11月期第2四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2018年11月期 第2四半期末	2017年11月期末	前期末比
流動資産	1,603	1,782	▲ 179
(うち現預金)	550	554	▲ 4
固定資産	703	921	▲ 218
(うちソフトウェア資産)	263	367	▲ 103
資産合計	2,306	2,704	▲ 398
流動負債	857	957	▲ 99
固定負債	198	298	▲ 100
負債合計	1,055	1,255	▲ 199
(うち有利子負債)	354	495	▲ 141
株主資本	1,241	1,449	▲ 208
純資産合計	1,250	1,448	▲ 198
負債純資産合計	2,306	2,704	▲ 398
自己資本比率	53.8%	53.6%	+0.2pt

第三者割当新株予約権 行使状況(2018年6月末現在)

第三者割当による第5回～第10回新株予約権を2018年3月26日に発行
 第5回～第7回新株予約権は、全部行使済
 本新株予約権発行により、6月末までに576百万円資金調達済

	行使価額 (円)	既行使数 (株) ①	未行使数 (株) ②	付与数 (株) ①+②
第5回新株予約権	1,886	50,000	0	50,000
第6回新株予約権	1,766	140,000	0	140,000
第7回新株予約権	1,676	140,000	0	140,000
第8回新株予約権	2,264	0	25,000	25,000
第9回新株予約権	2,119	0	70,000	70,000
第10回新株予約権	2,011	0	70,000	70,000
計		330,000	165,000	495,000

※本新株予約権発行条件の詳細は2018年3月9日適時開示「第三者割当による新株予約権の募集に関するお知らせ」をご参照ください



2. 業績回復に向けた取り組み

コンテンツ事業譲渡による組織再編

セグメント売上1,560百万円、損失627百万円(前期実績)で赤字事業であるコンテンツ事業を2018年7月4日付で会社分割により新設会社に承継させ、新設会社の株式の90%を株式会社クリーク・アンド・リバー社へ譲渡

< 譲渡した会社の概要 >

会社名	株式会社クレイテックワークス (株式譲渡後、株式会社スタジオリボルバーから商号変更)
資本金	7,000千円
設立日	2018年7月4日
事業内容	ゲームコンテンツの開発および運営
株主構成	株式会社クリーク・アンド・リバー社 90% シリコンスタジオ株式会社 10%

事業譲渡後、売上高は減少するものの、利益面では改善する見通し
組織再編により、赤字からの早期脱却を図る

組織再編後の当社事業：①開発推進・支援事業

<事業概要>

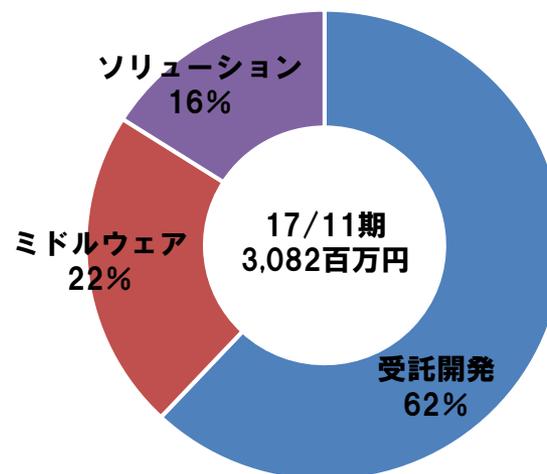
- 受託開発:CG・VR関連、自動車向けHMIなどの開発受託
- ミドルウェア:『YEBIS』、『MIZUCHI』、『Enlighten』などミドルウェア販売
- ソリューション:サーバーサイド開発、ネットワーク構築・運用・監視サービス

<売上推移>

(百万円)



<売上構成>



組織再編後の当社事業：②人材事業

<事業概要>

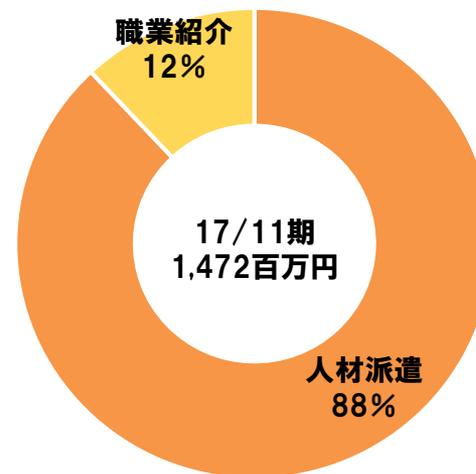
- クリエイティブ人材に特化した人材派遣、職業紹介サービス

<売上推移>

(百万円)



<売上構成>



今後の成長戦略

1. 開発推進・支援事業

- 昨年買収したミドルウェア『Enlighten』は世界的に知名度が高く、販売拡大が見込めることから、特に海外での販売活動を強化
- 『Enlighten』を軸に『Mizuchi』や『YEBIS』など当社ミドルウェア製品全体の販売拡大
- 成長余地が大きい自動車、住宅、映像業界などの非エンターテインメント業界向けの売上拡大(特に自動車業界)
- データサイエンス領域における新サービス『YOKOZUNA data』での顧客獲得

海外向け販売活動強化のため、ワールドワイドで拠点を有し、活動実績のあるパートナー企業を現在選定中

今後の成長戦略

2. 人材事業

- クリエイティブ業界向けで成長余地があることから、引き続き同業界に特化

関西方面へのエリア展開を開始

3. 全社

- 組織再編に伴い、オフィスレイアウト見直しなど、固定費削減に取り組む
- エンジニア採用活動を強化し、高付加価値サービスの内製化比率を高め、利益率上昇を目論む

これらの施策により、来期黒字転換を図る



3. 2018年11月期 連結業績予想

2018年11月期 連結業績予想

事業譲渡、および直近の業績の進捗状況等を踏まえ、2018年7月6日付で業績予想を修正

コンテンツ事業において、事業譲渡のため予想修正

なお、開発推進・支援事業と人材事業は概ね計画通りの進捗の見通し

(単位:百万円)

	2018年11月期 修正予想 ①	2018年11月期 期初予想 ②	期初予想比 ①-②	2017年11月期 実績
売上高	5,089	7,382	▲ 2,293	6,115
開発推進・支援	3,034	3,034	0	3,082
コンテンツ	264	2,557	▲ 2,293	1,560
人材	1,791	1,791	0	1,472
営業利益	▲ 850	104	▲ 954	▲ 1,251
経常利益	▲ 900	121	▲ 1,021	▲ 1,202
当期純利益	▲ 765	111	▲ 876	▲ 1,137
EPS	▲298.64円	44.56円	▲343.20円	▲456.73円

2018年11月期 配当予想

財務基盤の強化を優先し、2018年11月期も無配とさせていただきます。業績回復、および収益力の向上に向けた取り組みを着実に実行し、早期に復配できるよう努めてまいります。

決算期	1株配当金
2015年11月期(実績)	10円
2016年11月期(実績)	10円
2017年11月期(実績)	0円
2018年11月期(予想)	0円



4. トピックス

当社エンジニアの共著による論文がダブル受賞

画像電子学会において、当社所属エンジニアの共著による論文が最優秀論文賞および西田賞をダブル受賞

受賞論文:「エッジ縮退法によるメッシュ簡略化のアウトオブコア拡張」
著者:尾崎弘武(シリコンスタジオ/東京大学)、京田文人(シリコンスタジオ)、
金井崇(東京大学)





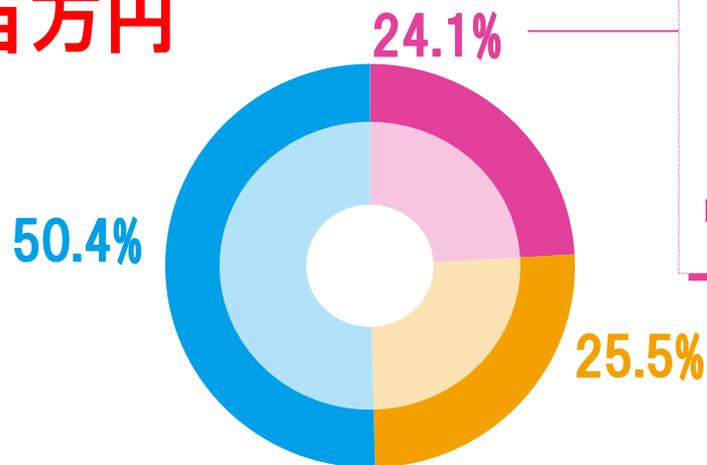
会社概要



社名	シリコンスタジオ株式会社
設立	1999年11月
上場日	2015年2月23日(東証マザーズ:3907)
所在地	東京都渋谷区恵比寿1-21-3
資本金	437百万円(2018年5月末現在)
従業員数	単体254名、連結316名(2018年5月末現在)
関係会社	イグニス・イメージワークス株式会社 株式会社イリンクス

事業概要

2017年11月期連結売上高
6,115百万円



Manpower 人材事業

- 人材派遣サービス デジタルコンテンツ分野に特化したクリエイターの人材派遣サービス
- 人材紹介サービス デジタルコンテンツ分野に特化したクリエイターの人材紹介サービス

Technology

開発推進・支援事業

- ミドルウェア開発
ゲーム開発エンジン「OROCHI」、
ポストエフェクトミドルウェア「YEBIS」、
リアルタイムレンダリングエンジン「Mizuchi」
リアルタイムGIソフトウェア「Enlighten」
等のライセンス販売
- ソリューションサービス
オンラインゲームの企画、
サーバ設計、ネットワークの構築・運用・監視サービス
- 開発受託
他社ゲームタイトル、CG関連などの開発受託

Contents

コンテンツ事業

- コンテンツ
自社タイトルによるスマートフォン向けゲームの
開発・販売



本資料における注意事項等

■本資料に掲載している情報は、シリコンスタジオ株式会社(以下、当社)の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、本資料の情報の掲載は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。

■本資料に掲載している情報に関して、当社は最新の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータ改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。

■本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

【IRに関するお問い合わせ】

シリコンスタジオ株式会社

IR担当

電話 : 03-5423-6876

E-mail : ir@siliconstudio.co.jp